

令和3年度第1回印西市消防委員会

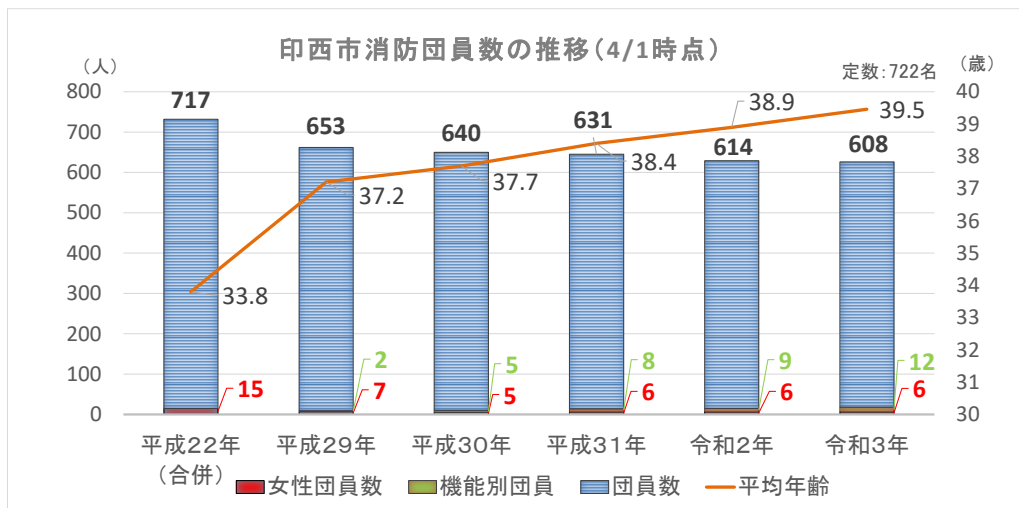
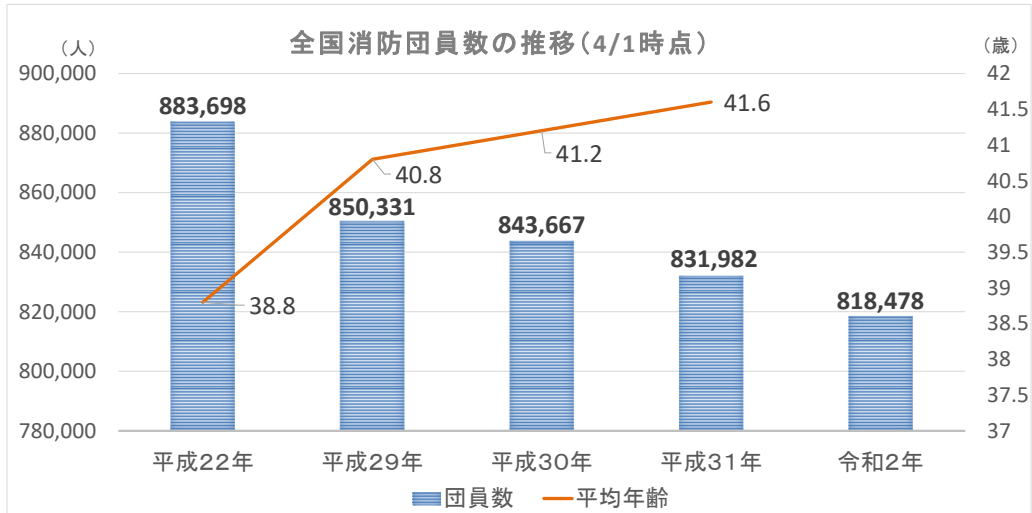
資 料

令和3年5月21日（金）

## 令和3年度印西市消防団行事計画予定

月	日	曜日	時間	名 称	備 考
4	11	日	午前	辞令交付式	松山下公園陸上競技場
				役員会議・新入団員規律訓練	サブアリーナ・陸上競技場
5	<del>9</del>			<del>印西市消防団統一訓練</del>	<del>印旛西部公園</del>
	中旬	土・日	2日間	千葉県消防学校 女性消防団員科	
	下旬	土・日	2日間	千葉県消防学校 消防団訓練指導科	
	<del>30</del>			<del>印西市操法大会</del>	<del>印旛西部公園</del>
6	<del>27</del>	<del>日</del>		<del>印旛支部消防操法大会(印西市担当)</del>	<del>会場 印旛西部公園</del>
7	<del>10</del>	<del>土</del>		<del>千葉県消防操法大会(県消防学校) (予備日17日、事前練習日3-4日)</del>	<del>千葉県消防学校</del>
8	上旬			幹部会議(副団長以上)	定例表彰関係
	上旬			普及指導員講習	女性部
	上旬	日	午前	消防器具庫点検	印西市役所・器具庫43ヶ所
10	上旬			献血PR活動(第3分団)	
	上旬			消防殉職者合同慰霊祭	県消防学校
	24	日		印西市総合防災訓練	
	<del>29</del>	<del>金</del>		<del>全国消防操法大会(前日28日に交流会有り)</del>	<del>千葉県消防学校</del>
11	9~15		7日間	秋季全国火災予防運動	
	下旬		午前	ポンプ中継訓練	本莖スポーツプラザ・西部公園
	下旬	土・日	2日間	消防団員指導員研修	
12	中旬			役員会議(分団長以上)	出初式関係
	26~			歳末警戒	5日間程度
1	8	土	午前	令和4年印西市消防出初式	松山下公園総合体育館
	下旬	日	午前	文化財防火訓練	会場未定
3	1~7		7日間	春季全国火災予防運動	
	中旬			役員会議(部長以上)	新年度行事
	下旬			千葉県消防大会	

## 【① 消防団の現状について】



### 年齢別団員数(R3.4.1 時点)

年代	団員数
20未満	4
20代	60
30代	234
40代	266
50代	38
60代以上	6
計	608

### 在職年数別団員数(R3.4.1 時点)

在職年数	団員数
5年未満	105
5年以上10年未満	103
10年以上15年未満	146
15年以上20年未満	162
20年以上25年未満	60
25年以上30年未満	27
30年以上	5
計	608

# 令和3年度 印西市消防団充足率一覽表

令和3年4月1日現在

本部		現数	(内訳)	編成	編成比	充足率		
団長		1		1	0	100%		
副団長		4		4	0	100%		
本部付分団長		12		14	-2	86%		
合計		17		19	▲ 2	89%		
第1方面隊		管轄区域	現数	(内訳)	編成	(内訳)	編成比	充足率
1	分団長		1		58	1	0	100%
	副分団長		1			1	0	100%
	1 (木下)	上町 幸町 下町 木下東1丁目 木下南	51	18		56	▲ 5	91%
	2 (竹袋)	竹袋 木下東2丁目～4丁目		12				
	3 (平岡)	平岡		9				
4 (別所)	別所 宗甫 鳴沢	12						
2	分団長		1		45	1	0	100%
	副分団長		1			1	0	100%
	5 (馬場)	馬場	24	6		43	▲ 19	56%
	6 (台方)	小林台方 小林浅間 小林大門下		11				
7 (砂田)	砂田 小林新田	7						
3	分団長		1		58	1	0	100%
	副分団長		1			1	0	100%
	8 (六軒)	六軒1～4 七畝割	50	16		56	▲ 6	89%
	9 (大森)	大森1～4		12				
	10 (古新田)	古新田		15				
11 (鹿黒)	鹿黒	7						
4	分団長		1		41	1	0	100%
	副分団長		1			1	0	100%
	12 (中の口)	中の口 西埜原	39	14		39	0	100%
	13 (発作)	発作上 発作下		15				
14 (亀成)	亀成	10						
合計			172	164	202	202	▲ 30	85%
第2方面隊		管轄区域	現数	(内訳)	編成	(内訳)	編成比	充足率
5	分団長		1		71	1	0	100%
	副分団長		1			1	0	100%
	1 (武西)	武西 武西学園台	52	15		69	▲ 17	75%
	2 (戸神)	戸神 戸神台		11				
	3 (船尾)	船尾1～4		0				
4 (松崎)	松崎1～5 三郷	17						
5 (結縁寺)	結縁寺 多々羅田 高花 内野	9						
6	分団長		1		28	1	0	100%
	副分団長		1			1	0	100%
	6 (草深)	泉 草深上 七軒屋 内川 原山	27	13		26	1	104%
7 (原)	仲の側 柏木台 原 石道台 西の原 牧の原	14						
7	分団長		1		71	1	0	100%
	副分団長		1			1	0	100%
	8 (本郷)	本郷	44	18		69	▲ 25	64%
	9 (宮内)	宮内		13				
	10 (和泉)	和泉 大塚		5				
11 (小倉)	小倉 牧の木戸 小倉台	0						
12 (白幡)	白幡 木刈	8						
合計			129	123	170	170	▲ 41	76%

第3方面隊								
	管轄区域	現数	(内訳)	編成	(内訳)	編成比	充足率	
8	分団長	1		56	1	0	100%	
	副分団長	1			1	0	100%	
	1	瀬戸 美瀬	39		17	54	▲ 15	72%
	2	山田			6			
	3	平賀 平賀学園台			16			
9	分団長	1		49	1	0	100%	
	副分団長	1			1	0	100%	
	4	吉高	35		14	47	▲ 12	74%
	5	萩原 若菘			10			
	6	松虫			11			
10	分団長	1		34	1	0	100%	
	副分団長	1			1	0	100%	
	7	師戸	26		14	32	▲ 6	81%
	8	鎌苅 舞姫			12			
11	分団長	1		51	1	0	100%	
	副分団長	1			1	0	100%	
	9	大廻 造谷 つくりや台	38		10	49	▲ 11	78%
	10	岩戸			14			
	11	吉田			14			
合計		146	138	190	190	▲ 44	77%	
第4方面隊								
	管轄区域	現数	(内訳)	編成	(内訳)	編成比	充足率	
12	分団長	1		51	1	0	100%	
	副分団長	1			1	0	100%	
	1	戸崎 辺田前	40		18	49	▲ 9	82%
	2	笠神 2区			22			
13	分団長	1		46	1	0	100%	
	副分団長	1			1	0	100%	
	4	滝 物木 滝野	39		12	44	▲ 5	89%
	5	竜腹寺			12			
	6	荒野 角田			15			
14	分団長	1		51	1	0	100%	
	副分団長	1			1	0	100%	
	7	3区 4区 和	48		20	49	▲ 1	98%
	8	5区 6区 7区			20			
	9	1区			8			
合計		133	127	148	148	▲ 15	90%	
本部付部								
		現数		編成		編成比	充足率	
	ラッパ部	5		18		▲ 13	28%	
	女性部	6		25		▲ 19	24%	

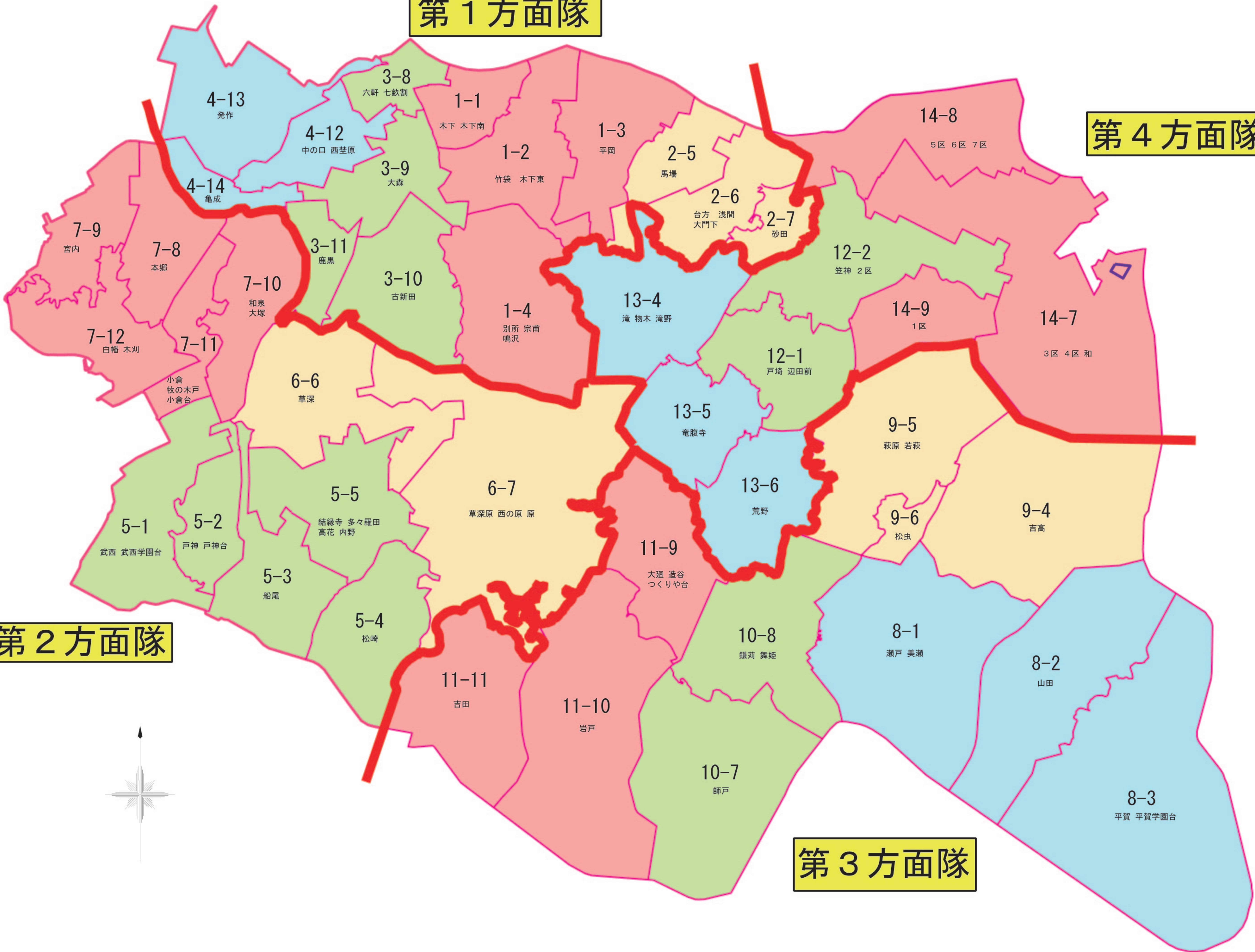
	実数	編成	充足率
団本部	17	19	89%
うち機能別7名 → 第1方面隊	172	202	85%
うち機能別4名 → 第2方面隊	129	170	76%
第3方面隊	146	190	77%
うち機能別1名 → 第4方面隊	133	148	90%
ラッパ部	5	18	28%
女性部	6	25	24%
	608	772	79%



# 印西市消防団管轄区域

## 第1方面隊

## 第4方面隊



## 第2方面隊

## 第3方面隊





# 「消防団員の処遇等に関する検討会」中間報告概要

## ① 消防団の現状

- ・令和2年4月1日時点の消防団員数は81万8,478人と2年連続で1万人以上減少する危機的状況（特に20代の消防団入団者数が10年間で約4割減少）であること。
- ・他方、災害が多発化・激甚化する中、消防団の役割も多様化しており、一人ひとりの消防団員の負担も大きくなっていること。
- ・こうした消防団員の労苦に報いるため、消防団員の処遇改善が不可欠と考えられること。
- ・処遇改善は消防団員の士気向上や家族等の理解につながり、ひいては消防団員の確保にも資すること。

## ② 出動手当

- ・出動手当を見直し、出勤に応じた報酬制度（「出勤報酬」）を創設すること。また、出勤に関する費用弁償（実費）については、別途必要額を措置すること。
- ・災害（火災・風水害等）に関する出勤報酬は、1日＝7時間45分を基本とし、予備自衛官等の他の類似制度を踏まえ、7,000～8,000円程度の額を、標準的な額とすること。
- ・災害以外の出勤報酬についても、市町村において、出勤の態様（訓練や警戒等）や、業務の負荷、活動時間等を勘案して均衡のとれた額となるよう定めること。
- ・支給方法については、団員個人に直接支給すべきであること。

## ③ 年額報酬

- ・即応体制を取るために必要な作業や、消防団員という身分を持つことに伴う日常的な活動に対する報酬として、出勤報酬の創設後も引き続き支給すべきであること。
- ・金額については、「団員」階級の者については年額36,500円を標準的な額とし、「団員」より上位の階級にある者等については、市町村において、業務の負荷や職責等を勘案して均衡のとれた額となるよう定めること。
- ・支給方法については、団員個人に直接支給すべきであること。

## ④ 消防団の運営に 必要な経費

- ・本来団員個人に直接支給すべき経費（年額報酬や出勤報酬等）と、消防団や分団の運営に必要な経費（装備や被服に係る経費、維持管理費、入団促進や広報に係る経費等）は適切に区別し、それぞれを市町村において適切に予算措置すべきであること。

## ⑤ 市町村における 対応

- ・①から④を踏まえ、市町村において消防団と協議のうえ、十分な検討を行い、必要な条例改正及び予算措置を実施すべきであること。

## ⑥ 国や都道府県に おける対応

- ・国においては、出勤報酬や年額報酬の標準的な額やその支給方法等の基準を定めるとともに、①から⑤について市町村に対して助言を行うこと。また、国は財政措置のあり方について、財政需要の実態を踏まえ十分な検討を行うこと。
- ・都道府県においても、市町村に対し必要な助言等の支援を行うこと。

## ⑦ 今後の検討事項

- ・報酬等に関する議論は、中間報告をもって結論とし、国・都道府県・市町村は早急に消防団員の報酬等の改善に向けた取組を進めること。
- ・消防団員の確保のためには、報酬等の改善のほか、社会的評価の向上や広報、訓練のあり方など、他にも取り組むべき重要な課題があるため、本検討会において、これらの項目について引き続き精力的に検討すること。

## ②消防団処遇改善について

### ■報酬額（年額）

役職	印西市	印旛郡市平均	全国平均	基準額
団長	160,000	157,222	144,785	市町村ごとに策定
副団長	112,000	111,222	104,438	
本部付分団長	85,000			
分団長	66,000	70,537	74,010	
副分団長	50,000	52,833	54,460	
部長	40,000	42,777	45,366	
班長	32,000	33,055	36,387	
団員	28,000	29,444	30,925	36,500
機能別団員	9,000			市町村ごとに策定

### ■出動手当（出動報酬）※時間等に関係なく定額の場合1回

	印西市	印旛郡市平均	全国平均	基準額
火災出動時	2,000	2,022	2,689	8,000
訓練	2,000	1,500	2,398	市町村ごとに策定

消防団運営交付金（1部年額）	140,000	消防機械器具等維持管理、消防操法訓練事業費、分団部運営事業費等		
----------------	---------	---------------------------------	--	--

『消防団員の処遇等に関する検討会』指針：即応体制をとるための必要な作業等についても、出動報酬を個人に支給することが適当である。